

「令和3年度に実施した仕事」の振り返りシート（A：裁量有）

記入日 令和 4 年 4 月 11 日

事業名称		農業振興対策事業費 [農業振興対策事業]							
予算科目	款 6	農林業費	項 1	農業費	目 3	農業振興費	事業番号	1	
事業の種別	☐ 市単独 ☒ 補助対象 ☐ 市が実施することが法律等で義務付けられているもの(市の上乗せあり)								
担当部署・課長名	産業振興			課 農政		係	課長名	佐伯 芳幸	
この仕事は、どの【施策】の課題を解決するための手段ですか。						施策番号	3 - 3		
【施策名】 都市農業の振興						総合計画書 (ページ)	73		
この仕事の目的	① 誰(何)を対象にしていますか。				① ①の対象数や量を、あらわすもの(対象指標)				
	市内農業者、農業者団体				①農家数 → ②農業者団体数				
	② ①をどのような状態にしたいのですか。[簡潔に]				② ②の状態になった数・量をあらわすもの(成果指標)				
	市内農業の維持・継続				①農家数 → ②農業者団体数				
指標の推移	③ そのために何をしましたか。				③ ③をどのくらい行いましたか(活動指標)				
	都市農業の存続を目指すため、必要な農機具・資材等の購入に対して補助を行い、農業経営の存続を図る。				補助金交付額				
					→				
指標の推移			単位	過去2年間の実績		当該年度	成果目標		
				平成31年度実績	令和2年度実績	令和3年度実績	令和4年度目標	令和5年度目標	
	対象指標	①の数値	人	①295 ②7	①295 ②7	①295 ②7			
	成果指標	②の数値	人	①295 ②7	①295 ②7	①295 ②7			
	目 標	②の目標値	人	①295 ②7	①295 ②7	①295 ②7	①295 ②7	①295 ②7	
目標値設定の考え方 農家数、農業者団体数共現状維持とした。									
活動指標	③の数値	円	3,859,555	15,973,667	32,851,054				
3 経費	事業費(実績)		円	6,537,672	16,367,100	33,117,697	※人件費の所要人数は、基本的には「人」で表わしますが、一時的な仕事については時間数での表示も可とします。その場合単位を「時間」に変更してください。 人件費(再任用職員以外) 年間単価は、 8,250,000円 時間単価は、 4,200円 で計算してください。 【算出根拠】令和2年度決算数値(退職手当組合負担金、共済費も含む。)		
	財源	一般財源	円	4,837,672	5,458,100	5,780,697			
		特定財源(国・都・他)	円	(内繰越明許1,700,000円)	(都) 10,909,000	(都) 27,337,000			
		(うち受益者負担)	円						
	人件費(目安)	所要人数(再任用以外)	人	0.55	0.65	0.65			
		所要人数(再任用)	人						
		職員人件費(再任用以外)	円	4,570,500	5,447,000	5,362,500			
職員人件費(再任用)		円							
事業費+人件費		円	11,108,172	21,814,100	38,480,197				
4 環境変化等	(1) 開始年度		平成6 年度						
	(2) 環境の変化 農地面積や農家数の減少には歯止めがかからないが、認定農業者制度を開始するなど、農業経営に対する意識の高い農家を中心として支援を行っている。								

事業名称	農業振興対策事業費〔農業振興対策事業〕			
担当部署・課長名	産業振興	課	農政	係 課長名 佐伯 芳幸

5 市民等の意見	この仕事に関して、令和3年度中に寄せられた市民・議会等の意見、また、市民・サービス利用者等の実態やその意識について		
	より安全で、より高品質な農産物の生産が求められている。		
6 市民協働	(1)この仕事の実施にあたり、市民協働に取り組みましたか。取り組んだ場合、取組手法欄の種類から番号を選択し、取組手法欄に番号を記載してください。（複数回答可）		
	☒ 取り組んだ	取組手法：⑤補助・助成	
	☐ 取り組まない	【取組手法の種類】 ①共催 ②実行委員会・協議会 ③事業協力 ④事業委託 ⑤補助・助成 ⑥情報提供・情報交換（広報媒体： ）⑦後援・場の提供 ⑧その他（ ）	
	(2)令和4年度に向け、さらに適した協働の形態とするために「考え」「気付いた」点		
7 課題	(1)令和3年度に課題とした内容（「令和2年度に実施した仕事」の振り返りシート 7課題（3）を転記）		
	農業後継者の育成		
	(2)(1)の課題解決に向けた取組や、事務改善など、令和3年度に実施したこと。		
	農業者の意欲向上を図るため、認証農業者制度の創設を行った。		
	(3)(2)を踏まえた今後の課題（仕事の最適化・合理化の提案）		
	農業経営の安定及び強化		
8	施策貢献状況（この仕事は、総合計画（基本計画）に掲げる課題の解決手段になっているか。）		
	施策名： 都市農業の振興		
	☒ なっている ☐ 環境の変化等により成果が減少している ☐ 類似の事業が他にあり改善の余地がある 事業名（ ）		
9 今後の方向性	(1)仕事の方向性（「7 課題（3）」の課題及び「8 施策貢献状況」を踏まえた具体的な改革・改善案など）		
	☐ 拡大 ☒ 現状維持 ☐ 縮小 ☐ 休止 ☐ 廃止		
	【取組内容】		
	農業後継者の育成と、農地の維持のために必要な支援を行う。		
	(2)上記(1)の取組にあたり、克服すべき問題点、必要な調整・準備等		
	相続に伴う農地の減少に歯止めがかからない。		